

第3節 中央区

(1) 母子保健事業

①子育てサークル情報交換会

目的：サークル間の情報交換、サークル活動の活性化。

内容：情報交換、新規事業の紹介、母子保健事業およびこども家庭支援室からの報告など、年2回実施。

②発達障害児のための相談室（予約制）

目的：発達障害の早期発見、早期支援。

内容：発達障害が疑われるケースで保護者が相談を希望する人を対象に、専門家による発達検査及び相談を実施する。相談者数 35組75人。

③子育て情報紙「ほっとほっと」の作成（保存版・季刊版）

目的：子育てをしている保護者や関係機関に身近な情報を提供。

内容：区内の子育て支援情報や健康に係るトピックス等を掲載し、新生児訪問対象者、4ヶ月健診受診者、転入者、区内子育て支援機関等に配布し、子育てに係る情報提供を行う。

④ペアレントトレーニング事業「トリプルPに学ぶ前向き子育てプログラム」

目的：トリプルPを通じて、子どもの行動の捉え方、子どもへの具体的ななかかわり方、関係作りなどについて、保護者が学ぶ機会を提供し、子育てに前向きに取り組めるよう支援する。ひいては児童虐待の防止、早期発見に寄与する。

内容：グループトリプルP①（発達に何らかの障害のある子どもの保護者対象。グループセッション6回、電話セッション2～3回）、グループトリプルP②（対象の限定なし。グループセッション5回、電話セッション2～3回）、単発講座セミナー（オンライン配信3回）

参加者数

グループトリプルP①	グループトリプルP②	単発講座セミナー (3回延べ人数)
10世帯(10人)	8世帯(12人)	15名

⑤子育て支援者のための養成プログラム

目的：地域の子育て関係者（保育所（園）、幼稚園、児童館、主任児童委員、小学校教諭等）が発達障害・虐待防止についての理解を深め、連携強化を図る。

内容：区内子育て支援機関の職員、主任児童委員等に対し、発達障害や虐待防止に係る研修会を実施しスキルアップを目指す。

日程	内容・講師	参加者数
令和4年12月6日(火)	児童虐待と愛着障害～子どものサインを見逃さないために～ 講師：白山 真知子 先生（臨床心理士）	58人
令和5年1月16日(月)	発達に課題のある子どもをもつ保護者への支援のあり方 講師：竹田 契一 先生（医学博士）	64人

（2）成人・高齢者保健事業

①結核ハイリスク者健診（ビューアー付きデジタル検診車での胸部X線健診）

目的：結核発病リスクの高い高齢者や、いわゆる社会的経済的弱者で胸部X線検査を受ける機会を逸してしまう住民（ハイリスク者）に対し、結核の啓発と健診を実施し、即時に受診勧奨等の支援を行い治療につなげ、結核の蔓延防止及び予防に努める。

2022年度（令和4年度）は市立更生センターと高齢者住宅での健診に取り組んだ（計53人受診）。

②健康づくり続け隊

・健康づくり続け隊養成連続講座

目的：地域住民が自ら主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりに関する情報提供や学習、住民同士の交流の場を設け、活動継続のための支援を行うことで健康寿命の延伸を図る。

内容：兵庫医科大学と連携し、一般市民を対象に健康に関する講座と体操などの実技、交流会を実施（3回連続シリーズ）30名参加。

・健康サポーターフォローアップ講座

目的：健康サポーターの地域での活動継続を支援し、地域へ健康づくりを広める。

内容：健康サポーターを対象に、健康に関する講座と体操などの実技、交流会を実施。23名参加。

(3) その他

① 区民健康セミナー（健康推進協議会活動）

目的：2000年（平成12年）8月に、区民のための自主的活動として、保健福祉および衛生水準の向上と健康づくりの促進を図るため三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、婦人会、自治会、老人クラブ等により中央区健康推進協議会が結成された。その活動の一環として、主に三師会の協力を得て開催。

内容：2022年度（令和4年度）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

例年は、健康づくり、健康問題、医療情報等区民の関心が高いテーマを取り上げ、医師会・歯科医師会・薬剤師会の講師により3回実施していた。